

## 総合計画審議会における意見等の対応

令和4年7月29日
第4回総合計画審議会
資料 No. 1

■ 6月28日開催の第3回上越市総合計画審議会及び会議後に聴取した委員の意見等について、以下のとおり、今後の対応や検討の方向性等を整理した。

No.	項目 【第3回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
1	まちづくりに込める想い（基本理念）、将来都市像の補足説明【資料No.3】	第3回審議会における意見	・「上越らしさ」について、市外から移住してきた人や市内から市外へ転出した人の意見を加えることで、多面的に「上越らしさ」を捉えることができるのではないか。	・ これまでに実施した、グループインタビューやまちづくり市民意見交換会において、本市への移住者等からも参加いただき、意見聴取を行ったほか、SNSを活用した情報発信を行い、ウェブを介して市内外を問わず意見を聴取してきました。 ・ また、時宜を捉えて、首都圏に住む上越市出身者から外から見た上越市について、意見を聞く機会を設けることとしており、引き続き幅広い意見聴取に努めたいと考えています。
2			・「まちづくりに込める想い」はこうあるべきという根本的な考え方ではなく、目標とすべきではないか。 ・ 理念、目標、目的の使い方を整理する必要がある。	・ 基本理念「上越市ならではの快適で幸せな暮らし」は、2040年において、こうあるべき、こうありたいという根本となる考えを表現したものであり、目的や目標とは使い分けていますが、意見を踏まえ、わかりやすい表現とするため、基本理念を【上越市ならではの快適で幸せな暮らしの実現】に修正します。  <b>※第4回資料No.2、No.3のとおり</b>
3			・「まちづくりに込める想い」の「上越市ならではの快適で幸せな暮らし」について、「・・・暮らし」ではなく「・・・暮らしができるまち」と表現してはどうか。	
4			・「まちづくりに込める想い」の「上越市ならではの快適で幸せな暮らし」について、「・・・暮らしの実現」とすべきではないか。	
5			・ 将来都市像で、「暮らしやすさ」を「守り」、「希望あふれる」を「攻め」としているのであれば、「攻め」を上を持ってきて強調する方がよいのではないか。	
6			・ 将来都市像の副題について、まちづくりに込める想いとの関係性がわかりにくくなるため不要ではないか。	・ 意見等を踏まえ、わかりやすい計画となるよう副題は設定せずに、将来都市像を【暮らしやすく、希望あふれるまち 上越】に修正します。  <b>※第4回資料No.2、No.3のとおり</b>
7		第3回審議会会議後の意見	・「暮らしやすいまち」、「希望あふれるまち」のいずれかに分類することは難しく、どの政策も両方の要素が入るものと考えられる。 ・ しかしながら、各取組はいずれかの政策内に落とし込まれていくこととなるため、図等で一つ一つが独立して存在するものではなく、関わり合いながら存在していることを示す必要がある。	・ 5つのまちづくりの目標（政策）については、政策体系をわかりやすく表現するためにそれぞれを独立して表記しています。 ・ いただいたご意見のとおり、将来都市像の実現に向け、それぞれが重なり合い、関連しているものと認識していることから、ふさわしい表現を検討していきます。
8			・ 将来都市像の「希望あふれる」の説明について、「若者が帰ってきたくなる上越市」ではなく、「若者が帰って来る上越市」としてはどうか。	・ 若者が生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、夢や希望を持って自ら望んで帰ってくるような、魅力的なまちづくりに取り組んでいく必要があると考えています。 ・ このような地域に対する前向きな想いを抱いている若者が増えていく状態を「帰ってきたくなる」と表現しているものであることから、原案のとおりとします。

No.	項目 【第3回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
9	まちづくりの目標 (政策) 【資料No.4】	第3回審議会会議後の意見	・小中一貫教育や学校運営協議会、地域青少年育成会議による学校づくりや地域づくりに関する取組を施策の柱として取り入れるべきである。	・担当課等と調整を図るとともに、基本計画において具体的な対応を検討していきます。  ※第4回資料No.5のとおり
10	その他計画全般について	第3回審議会会議後の意見	・将来の人口推計から、地域によっては住民自治が困難な状況となることが想定されることから現在の区の在り方の見直しが必要ではないか。第7次総合計画でその表現を検討する必要がある。	・将来推計人口等を踏まえ、どのように地域の暮らしや活力を維持していくか検討を進める必要があると考えています。 ・また、施設の老朽化に対して、各分野で長寿命化計画等に基づき、計画的な予防保全に努めるほか、統廃合も含め、計画的な更新、維持管理に取り組む必要があると考えています。 ・こうした課題認識と対応の方向性については、基本計画の中で示していきたいと考えています。
11			・人口減少に伴い、税収も減少することが見込まれるため、将来に渡り今の行政サービスが維持できるのか。老朽化したインフラの更新も必要と思われる。	
12			・2040年、2030年の長期目標や中期目標を具体的に数値として評価基準を示してはどうか。	・今後、計画策定作業を進める中で、対応を検討していきます。
13			・横断的な取り組みについて、関連部署との連携や協働について概要を記述してはどうか。 ・また、横断的に取り組むものは記号やマークで分かりやすくしてはどうか。	
14	・施策ごとにありたい姿や方向性を具体化して明記してはどうか。			